6月 新着図書

ありか

著者名：　瀬尾まいこ
出版社：　水鈴社

愛はここにある。幸せはここにいる。
「これまでの私の人生を全部込めたと言い切れる作品を描きました」
――瀬尾まいこ

母親との関係に悩みながらも、一人娘のひかりを慈しみ育てる、シングルマザーの美空。
義弟で同性のことが好きな颯斗は、兄と美空が離婚した後も、何かと二人の世話を焼こうとするがーー。

それいけ！平安部

著者名：　宮島 未奈
出版社：　小学館

ピュア度100％！ ハートフル青春小説いみじ！ 新入生、部活つくったってよ県立菅原高校の入学式当日、同じクラスになった平尾安以加から「平安時代に興味ない？」と牧原栞は声をかけられた。「平安部を作りたい」という安以加の熱意に入部を決めるが、新部を創設するには5人の部員が必要だった。あと3人（泣）!!
クラスメートから上級生まで声をかけ、部員集めに奔走するが――
「平安部って、何やるの？」

マリコにもほどがある！

著者名：　林 真理子
出版社：　文藝春秋

勤め人となり2年半。やっぱりマリコは忙しい。三が日は大手町へゆき、沿道から駅伝の応援だ。4年ぶりの出場となった日大へ向け学生たちと校歌を歌ううち、アンカーが目の前に。声を揃えてその名を叫べば、思わず目頭が熱くなる。ああ、若いというのはこういうことなんだ。かくいうマリコ、今年古希を迎えるのである。還暦の時はよかった。まだイケるじゃん、内心そう思っていた。だが、７０なのである。あくせく働くのはやめようか、年金をもらってなんとか暮らしていくか。誕生日を前に、マリコの心は千々に乱れる。

雫峠

著者名：　砂原 浩太朗
出版社：　講談社

国を棄てるかもしれぬ。
だが俺が知らぬ顔したら、義妹は死ぬ。
武士の理にあらがった二人の逃避行を描く表題作を含む、
四季薫る神山の原風景と、そこに生きる人々の気品が漂う作品集。

団地メシ！

著者名：　藤野 千夜
出版社：　角川春樹事務所

16歳の花は高校になじめず、ずっと休んでいる。そんなある日、母方のおばあちゃんのゆり（70歳）から、むかし住んでいた「つつじが丘の団地に行ってみたい」と言われ・・・そこからふたり（たまにいとこも参戦）は、つつじヶ丘、狛江、豊洲……といろいろな団地をのんびりめぐって、お寿司、蕎麦、カレー、ケーキ、ラムネなどおいしい御飯やスイーツを楽しむことに。
花＆ゆりの年の差コンビが、お互いを思いやりながら、ちいさな幸せをみつけていく。

アルプス席の母

著者名：　早見 和真
出版社：　小学館

秋山菜々子は、神奈川で看護師をしながら一人息子の航太郎を育てていた。湘南のシニアリーグで活躍する航太郎には関東一円からスカウトが来ていたが、選び取ったのはとある大阪の新興校だった。声のかからなかった甲子園常連校を倒すことを夢見て。息子とともに、菜々子もまた大阪に拠点を移すことを決意する。不慣れな土地での暮らし、厳しい父母会の掟、激痩せしていく息子。果たしてふたりの夢は叶うのか！？
補欠球児の青春を描いたデビュー作『ひゃくはち』から15年。主人公は選手から母親に変わっても、描かれるのは生きることの屈託と大いなる人生賛歌！
かつて誰も読んだことのない著者渾身の高校野球小説が開幕する。

緑色のタイトル名は児童書です

＊ 内容紹介は「 BOOK」データベース より